

川崎市

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた
平成29年度の目標とその達成状況

目標：1 医療、福祉関係機関職員相互の顔の見える関係づくり

【達成状況】

○地域自立支援協議会精神障害者地域移行・地域定着支援部会に設置した、「連携」ワーキンググループにおいて、医療機関と地域関係機関との顔の見える関係づくりを目的とした意見交換会を開催した（2月9日開催・約50名を予定）

目標：2 医療、福祉関係機関職員を対象にした人材育成、バックアップ体制の充実

【達成状況】

○地域自立支援協議会精神障害者地域移行・地域定着支援部会に設置した、「人材育成」ワーキンググループにおいて、今後の連絡会議や研修等で活用するため、「川崎版精神障害者地域移行・地域定着支援の流れ」の教材を作成した

目標：3 社会資源の充実、市民への普及啓発

【達成状況】

○地域自立支援協議会精神障害者地域移行・地域定着支援部会に設置した、「社会資源」ワーキンググループにおいて、市内3地域（南部・中部・北部）において、社会資源見学ツアーを企画・実施（南部：1月30日12名参加、中部：2月8日10名参加、北部：2月28日（実施予定）

※構築支援事業を活用した、モデル地区での地域連携事業の取組については、AD合同会議の事前課題シートに記載しました。

平成30年度の取組方針

- 1.
- 2.
- 3.

2月の部会において、年度のまとめを行い、3月にワーキンググループの検討結果に基づく計画を作成予定